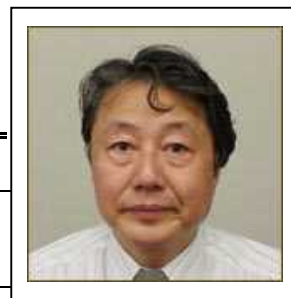


神学部 神学科 教授

宮本 久雄 (みやもと ひさお)



研究テーマ

教父学、新約聖書、哲学

主な授業担当科目

キリスト教史 I、キリスト教ラテン語 I・II 等

学歴・職歴・取得学位・受賞歴等

1970 年東京大学文学部哲学科卒 1972 年同大学院修士課程修了
1980 年オンタリオ州立哲学神学大学 (カナダ) 神学修士
1981 年仏立エルサレム聖書学研究所名誉学士
1991 年東京大学大学院院総合文化研究科教授、2002 年学術博士 (東京大学)、
東京大学名誉教授

主な著書 (2000 年以降)

『存在の季節 ハヤトログア (ヘブライ的存在論) の誕生』 知泉書館 2002
『愛の言語の誕生 ニュッサのグレゴリオスの『雅歌講話』を手がかりに』 新世社 2004
『恨と十字架』 新世社 2005
『「ヨブ記」物語の今日的問いかけ 苦難・神・他者の発見』 新世社 2006
『いのちの記憶 受難と甦りの証言』 新世社 2007
『「語りえぬもの」からの問いかけ』 東大駒場〈哲学・宗教・芸術〉連続講義 岡部雄三共編 講談社 2002
『一神教文明からの問いかけ』 東大駒場連続講義 大貫隆共編 講談社 2003
『文化と芸能から考える公共性』 金泰昌共編 東京大学出版会 2004
『公共哲学の古典と将来』 山脇直司共編 東京大学出版会 2005
『受難の意味 アブラハム・イエス・パウロ』 大貫隆、山本巍共編著 東京大学出版会 2006
『他者との出会い』 金泰昌共編 東京大学出版会 2007 (シリーズ物語り論 1)
『原初のことば』 金泰昌共編 東京大学出版会 2007 (シリーズ物語り論 2)
『彼方からの声』 金泰昌共編 東京大学出版会 2007 (シリーズ物語り論 3)
『他者の甦り アウシュヴィッツからのエクソダス』 創文社 2008 (長崎純心レクチャーズ) (共編著)

所属学会

中世哲学会 (前会長)、日本倫理学会、東方キリスト教学会、大学の智と共育研究会ほか

海外活動

UNESCO、韓国京都フォーラムほか

趣味・学生に伝えたいこと

旅に生きる

URL、E-mail、連絡先